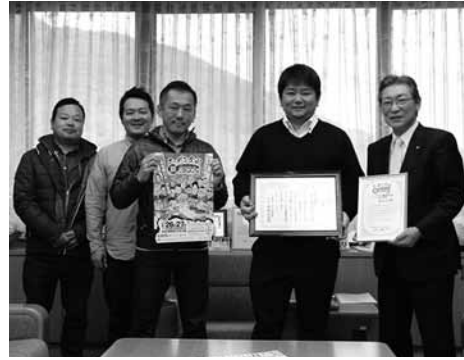


受章・表彰

◆ニッポン全国鍋グランプリ2019
審査委員特別賞
周防大島鍋奉行会



▲1月29日、受賞の報告に訪れた周防大島鍋奉行会の皆さん

◆全国老人クラブ連合会表彰
周防大島町老人クラブ連合会 大島支部



▲表彰された周防大島町老人クラブ連合会 大島支部の皆さん

30 周防大島の文化財 庄地古墳群（久賀）

庄地古墳群は、周防大島町内の二大古墳群の一つで、古墳時代後期（7世紀）に築造された、いずれも無袖（むそで）の横穴式石室の古墳である。

地形的には、久賀平野の南半分を眼下に一望でき、文殊山から派生した三本松山（263 m）の中腹、標高50～80mに立地し、7基の古墳が発見される。このうち、現存しているのは、1号墳・2号墳・3号墳・4号墳・7号墳である。石質は、花崗岩を主とし、一部安山岩を使用している。



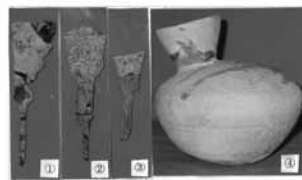
※第5号墳、第6号墳は盗掘され、遺構の痕跡は消失。

昭和53年（1978）、当時の久賀町教育委員会から県教育庁文化課に古墳発見の報告と調査依頼があり、文化課調査員2名（戸成嵩和と私）が派遣された。その際、この古墳を4号墳と命名して発掘調査を行った。同時に庄地古墳群の実態調査をして、調書を作成し、第4号墳の発掘調査結果の遺構及び遺物の実測図と共に、久賀町教育委員会へ報告した。現在、古墳からの出土物は久賀歴史民俗資料館1階に保管・展示してある。

《周防大島町文化財保護審議会会長 尾野榮明》



第2号墳出土土器



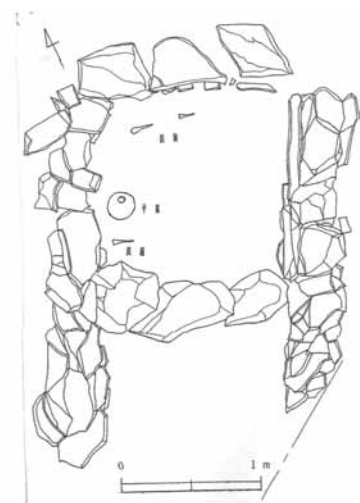
第4号墳出土鉄製品・土器



第5号墳出土土器、鉄製品



第6号墳出土土器



第4号墳遺構実測図